

認定調査員評価シート 【認定調査時の聞き取りと特記事項の記入内容を評価していくシートです】

◎このシートは「認定調査時の聞き取り」及び「特記事項」の不足が多いものを優先して左欄に配置しています。
以下の内容が適正化ポイントの全てではありません。

◎「特記事項に記入があれば○」「少し記入があれば△」「特記事項に記入が無ければ●」等を記入していきます。 著作権 ©SEO財団 福祉サービス評価機構(Ver.12.0)

年 月 日

評価者名:

評価項目			調査員名	記入例	1	2	3	4	5
				〇〇△子					
認定調査時 同行が可能な場合	①接遇全般（信頼関係の構築） ②伝わる質問 ③間の取り方 ④74項目全て調査（一部確認動作） ⑤適宜復唱（事実を聞き取る） ⑥ご本人の体調確認 ⑦思い込み防止対策 ⑧守秘義務 ⑨その他（ ）			○					
	概況調査			○					
	特記事項 全般			● △ △					
有無 1-1 1-2 (安全確保を第一)	1-1 1-2 共通	実施・未実施の記録 未実施の理由		●					
		確認動作の理解		○					
		日頃の状況の特記事項		●					
		「その他」の調査		○					
	1-1	「軽度・著しい」等、テキストの留意点の理解と伝わる特記事項		△					
	1-2	主治医意見書が確認できる場合 意見書との不一致状況 ※意見書と定義は異なる 例「意見書は膝関節拘縮にチェック」「1-2は未記入」等 原因は？		●					
能力 (安全確保を第一)	実施記録	1群		●					
		3群		●					
	日頃の能力	1群		●					
		3群		●					
	能力評価の状況（日頃の能力を含め） 「できない理由」「つかまる理由」「背もたれが必要な理由」の記入		●						
	3-4	3品確認の正しい調査方法		○					
5-3等	ケアプラン、ケア内容（サービス）の理解と意思決定 「理解できない理由」「意思決定できない理由」 ※ 5-3も能力の評価軸		△						
介助の方法	見守り等・一部介助・全介助の理由 聞き取りは？ 特記事項は？ ※介助理由が記入できている項目 ※介助理由が未記入の項目			●					
	ご本人ができること（できそうなこと）			○					
	より頻回な場合の選択（頻度）			●					
	一連の行為の理解			△					
	一連の行為以外の介護の手間（手間量）の特記事項			●					
	行為が発生しない場合の調査方法			●					
	類似行為の特記			●					
	不適切評価	介助が不足（独居等）		●					
		行われている介助が「自立を阻害」		●					
	2-1	移乗の機会が無い場合の調査方法及び特記事項		●					
	2-2	全ての移動場所		●					
		個々の移動頻度		●					
		個々の移動状況		△					
		手間量		●					
	2-4	朝昼夜の食事摂取状況 食事時間（手間量）		●					
	2-5	昼夜の排泄状況 排泄頻度 手間量 事前誘導の選択肢 失禁の有無（頻度） 失禁の原因 適切な介助		△					
2-6	頻度 手間量		△						
他の項目	事前の声かけ？ 行為の最中の声かけ？ 声かけの理由		●						
有無 BPSD関連	場面や目的からみて不適当な行動			○					
	頻度			△					
	介護の手間の有無			●					
	介護の手間時間			●					
特別な医療 (過去14日間)	実施者			○					
	実施理由			●					
	頻度・最終実施月日			●					
	継続して実施されているもの			●					
項目間の矛盾 日常生活自立度の根拠（7-1・7-2）			△						